



学 校 だ よ り

令和7年11月28日

東京都立小平特別支援学校

校長 鈴木 愛

肢体不自由教育部門・病弱教育部門(病院訪問部) 〒187-0035 小平市小川西町 2-33-1 TEL 042-342-1671

病弱教育部門(センター病院内分教室部) 武蔵分教室 〒187-0031 小平市小川東町 4-1-1 国立精神・神経医療研究センター病院内
TEL 042-344-4537

秋から冬へと季節が移り変わる中、子供たちは様々な体験を重ねています。11月は、肢体不自由教育部門で校外学習や社会見学、人形劇の鑑賞、小学部6年生の移動教室があり、仲間とともに新しい世界に触れる機会となりました。病弱教育部門では、文化祭、作品展に向けたワークショップ、音楽鑑賞会、分身ロボットを遠隔操作してデフレンピックを観戦するなど、心を豊かにする活動が続きました。

こうした経験は、子供たちの表現力や協働する力を育み、確かな成長につながっています。

12月には、両部門で作品展が開催されます。一人一人の思いや努力が形となり、互いに認め合う場となることを願っています。寒さが厳しくなる季節ですが、温かいまなざしで子供たちを見守り、応援していただければ幸いです。

「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」を紹介します。

東京都教育委員会が推進する「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」は、児童・生徒の積極性や協調性、コミュニケーション力など、豊かな心の育成につながる体験を各学校で実施できるように、多様な体験プログラムが提供されております。本校でも、肢体不自由教育部門と病弱教育部門の両方で、この活動を実施しました。普段の授業では味わえない体験を通じて、子供たちは新しい発見や感動を重ね、笑顔あふれる時間を過ごしました。こうした体験は、学びへの意欲を高め、心の成長につながっています。

●肢体不自由教育部門 ~漫才体験~

11月19日（水）お笑いコンビの流れ星☆のちゅうえいさんとたきうえさんを講師として、漫才についての講義と実際に漫才のネタ作り体験・発表する取組が行われました。漫才をした経験はほとんどなかったはずですが、ツッコミとボケの考え方についてのレクチャーがあり、ワークシートをもとに、自分たちで“ネタ”を考えました。



レクチャーでは、ハンバーガー屋の“普通ではないこと”を考えるというお題がありました。「お店に入った途端に会計する」というボケを考え発表したコンビは、講師のお二人に「最高です！」「それいいね！」とほめてもらって、満足そうな表情をしていました。コンビ名の発表では、「なぜそれにしたの？」とお二人との会話もはずみ、大盛り上がりでした。5つのコンビ全員、漫才発表をし、会場は笑いと拍手で包まれました。

●武藏分教室（病弱教育部門）～人形劇鑑賞～

11月20日（木）50年以上の歴史がある人形劇団ポポロを迎えて、分教室の教室と病棟ホールで人形劇を2回公演していただきました。音楽のリズムに合わせボールや傘がくるくる動き、その後ポポロおじさん（人形）が出てきて、元気よく挨拶する「オープニング・ショウ」から公演はスタート！「ポエム・ポエム」は、歌でつづる人形劇ボードビルです。歌詞通りにおもちゃが踊りだす「おもちゃのチャチャチャ」のかわいい人形の踊りに釘付けでした。中を通ると人形が入れ替わる「くるくるトンネル」では、あおむしや卵が別のものになって出てきて驚きの声が出ていました。楽しい曲に合わせた人形たちの動きに、児童・生徒もたくさん声を出して人形劇の世界に関心を示していました。教師も笑顔で拍手喝采、素敵なひと時を過ごせました。



副校長 布川 有希恵

訪問部の紹介

訪問部について

訪問部では、通学が困難な児童・生徒に対して、個別に御家庭や病院、施設を訪問して授業を行っています。11月30日現在、計20名の児童・生徒（小学部6名、中学部5名、高等部9名）が訪問学級に在籍しています。また本校には、東村山市の秋津療育園内に施設内訪問学級（通称：こぶし学級）もあります。

授業について

週3回、1回当たり2時間を標準にして訪問授業を行っています。授業は教員と1対1で行うのが基本ですが、本校では複数体制で訪問する時間も設定しています。教員が複数で訪問し、人間関係を広げたり幅広い取り組みを行ったりできるようにしています。施設内訪問学級では、集団で戸外に行ったり、集団活動を行ったりもしています。一人一人の体調に合わせてスクーリング（登校指導）を行うこともあります。学校行事、グループ授業など参加形態は様々ですが、学校ならではの体験や集団学習を通して、友達と交流して経験を広げます。今年度の文化祭では、作品展示以外にもそれぞれ所属する学部の発表に当日出演したり、事前に撮影したビデオで参加するなどして活躍しました。

<こぶし学級 授業の様子>

秋津療育園の病棟内で、週3回の訪問授業を行っています。個別学習では、担任と個々に力を伸ばす活動や身体の取り組みをじっくり行います。集団授業では、集団ならではの盛り上がりを楽しむ活動を行っています。



<訪問学級の作品紹介>

『訪問学級みんなの手形・足形』

1階図書コーナー付近の廊下には、訪問学級児童・生徒の手形や足形で作った、大きな花束を掲示しています。



文化祭展示作品

今年度は、ランプシェード制作に取り組みました。和紙の音や感触を十分に味わった後、折り染めて染め上げました。折り方や絵の具の色など、各々悩みながら、教員とじっくり相談しつつ仕上げた作品になっています。

校舎内1階の廊下に掲示してありますので、来校された際にはぜひお近くで御覧ください。